

2019年度西淀川インターナショナルコミュニティ活動報告

2020/4/8

1. 団体概要

大阪市西淀川区に暮らす外国人住民、特に外国にルーツをもつ子どもへの育成支援を、外国人と日本人が協働して取り組むボランティア団体



西淀川インターナショナルコミュニティ
Comunidad internacional de Nishiyodogawa

代表：中村満寿央、松元ロサリオ、樋上メルシーリータ

設立：2015年9月

助成実績：2015-2017, 2019年 大阪市ボランティア活動振興基金助成

2018年 内閣府子供の未来応援基金助成

URL: <http://tabunka.jp/nishiyodogawa-ic/>

2. 2019年度活動実績

(1) 学習支援教室

① 「きらきら」36回開催、のべ111名の小学生参加
(ペルー、フィリピン、スリランカ、中国ルーツ)

外国にルーツを持つ小学生対象の居場所と学習支援の場を毎週月曜日16:00~17:20 ゆうせいホールで実施。

コーディネーターを中心とする支援スタッフと共に漢字ドリルや計算ドリルなどの学校の宿題をすませた後、教室準備のドリルを使って個別に予習や復習に取り組んだ。低学年児童は、折り紙やゲームなどを楽しむ場面も見られ居場所としての機能を果たした。

教室の様子を「たぶんか相談タイム」に訪れる保護者に学習の様子や教材を提示する、出席カードを持ち帰り保護者に見せる、等で家庭と情報共有できた。



↑きらきら 学習のようす

参加した子どもたちは日本滞在年数にばらつきがあり、そのため日本生まれの子どもには教科学習の伴走と日本語の基礎力確認が必要であり、来日間もない子どもには、はじめての日本語学習を考慮しながらの対応が必要であった。支援者はスペイン語、英語、またはフィリピン語等での会話力のあるメンバーで子どもや保護者とのコミュニケーションをとるには一定の安定感がある。一方で小学校教育や日本語教育の専門家ではないため小学校における各学年の教科学習の内容把握や指導法及び子どもへの日本語指導法等については工夫が必要であった。今後に向けて情報収集を進め、より子どものニーズに合う対応方法を探り次年度に活かす目的で年度末には支援者ミーティングを行った。

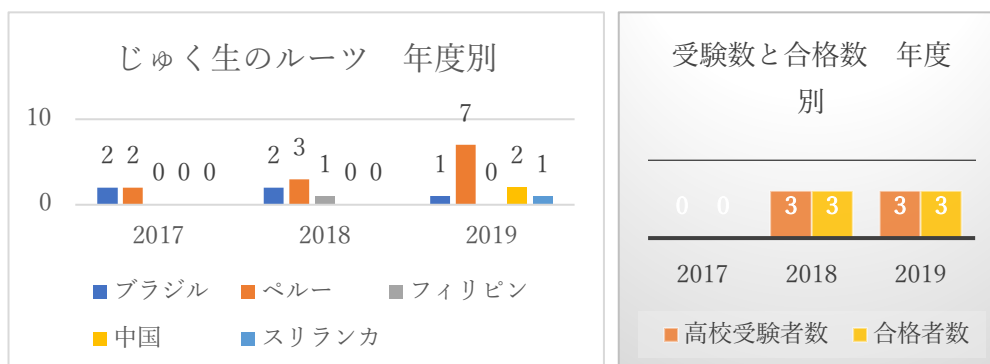
② Tabunka Juku “Animo” (たぶんかじゅく「アニモ」)45 回開催のべ 264 人の参加 (ブラジル、ペルー、中国)

毎週月曜日 17:30～19:00 ゆうせいホールで実施。かつて「きらきら」に通っていて中学生となった子たちの学習の場として 2017 年の夏、保護者からの熱い想いと協力により中学生の学習の場を立ち上げた。当時ブラジル・ペルー・ルーツの中 1・中 2 生の 4 名がブラジルレストランのテーブルを借用して学習した。現在は会場をゆうせいホールに移し高校進学支援を中心に取り組んでいる。

コーディネーターを中心に講師はスペイン語・中国語・英語話者を含み母語支援を配慮して取り組んでいる。2018 年度は 5 名の生徒のうち 3 名(ペルー・ブラジル・フィリピン)が、2019 年度は 9 名のうち 3 名が高校に合格した。進学先は私立高校と公立特別入試の日本語指導が必要な生徒選抜実施校に分かれた。前者は日本生まれまたは日本滞在が長い生徒、後者は来日半年余りの生徒である。どちらも外国にルーツを持つ子どもであるが、教科・進路情報の支援方法は異なるため、元大阪市帰国した子どもの教育センター校担当経験者の運営委員と共に取り組んだ。また、来日前の母国での就学状況を正しく把握し、母国の中学校を卒業していない場合の日本の中学校への就学支援をきちんと進める大切さを実感した年でもあった。

将来地域社会を担う子どもたちに日本語・日本文化を学ぶ場として、また未来の夢につながる進路情報や就学支援金、奨学金等について多言語による情報を伝えていきたい。

大阪市塾代助成事業による一人一か月最大 1 万円の交付金を活用し、毎年ほぼ全員がゼロ円で授業を受けている。外国人保護者が経済的負担を減らし、子どもたちは定期的な学習習慣を身につけ、わからないことを聞きやすく相談できる環境作りをと心がけている。現在まで 2 校の中学生のみであるが今後西淀川区内の他の中学校の生徒にも参加を呼び掛けていきたい。





↑ 防災ワークショップ

通常は英語・数学・日本語のいずれかを学習しているが12月16日特別プログラムとして関西大学社会安全学部都市防災教室専攻の学生さんによる防災ワークショップを行った。南海トラフ/津波浸水被害をテーマに外国にルーツを持つ子どもたちが知っている情報と知らない情報を明らかにすること、外国ルーツを持つ子供たちにわかりやすい情報とわかりにくい情報を明らかにすることを目的に実施された。スペイン語、中国語のサポートを行い2018年の台風被害で電気や水道などのライフラインがストップした経験を持つ地域として意義深い試みとなった。

(2) 「たぶんか相談会」30回開催 のべ46件 (ブラジル、ペルー、ネパール)

毎週月曜日 14:00~16:00 ゆうせいホールで、スペイン語・ポルトガル語の話せる西淀川区在住の方の協力で実施した。「きらきら」「たぶんかじゅくアニモ」と関連して外国につながる子どもたちの教育についての相談対応を想定していたが、実際の内容は、区役所や学校からの連絡文書についての補助説明や記入補助という情報補助と、解雇された際の保険、労災、有給、離婚や子どもの親権を得るにはという生活や人権に関わる相談であった。前者は内容を全く理解できないというよりなぜそうするのかという理由が文化的違いもあり理解できないから説明してほしいというものも見受けられた。後者については専門的な知識を要する部分もあり9月の「弁護士さんとの法律相談」につながった。

今後も気軽に子どもしたこと、就労や健康について困ったことや情報が母語で話せる場の継続が必要だといえる。

9月30日 外国人のための相談会(弁護士が対応)

弁護士グループ「マイグラント」様の協力で3件(ブラジル・ブラジル・ペルー)の法律相談をゆうせいホールでスペイン語・ポルトガル語通訳者を介して生活や就労などについて相談した。

今後の課題として次の5点があげられた。

1. 内容によっては行政書士の同席を依頼する
2. 内容によっては相談者・弁護士・通訳者のみにする(今回記録者が同席した)
3. 一室に一相談者としてプライバシーを守る(今回一室に2コーナーとした)
4. 事前のヒアリングをきちんとする
5. 時間配分を考慮する

(3) 交流行事

① 5月26日 「わいわいフェスタ&ワールドフェスタ in 出来島」

主催：出来島地域活動協議会 出来島商店会 協賛：西淀川社会福祉協議会 西淀川区役所

会場：出来島第2公園およびコミュニティ会館前

ペルーやネパールの食べ物を売るブースもあり外国人家族の参加がみられる。

② 8月10日 13:00~17:00 チャリティーパーティー「ブラジルのごはん」

主催：西淀川インターナショナルコミュニティー 会場：ゆうせいホール

参加者：予想をはるかに超える約50名(ブラジル10名, ペルー11名, パラグアイ2名, 日本19名+子ども10名前後)であった。日本人参加はゆうせい薬局様の協力によるところが大である。

ブラジル料理を楽しみながら情報交換している様子からは、安心して、ともに楽しむ場の重要性が感じられた。チャリティーパーティーの目的は子どもたちの学習に活かすため参加費一人2000円であったが、参加費の負担や片付けに積極的に協力が得られた。

③ 10月6日 「ワイワイフェスタ」



会場：出来島第2公園およびコミュニティ会館前
プログラムには南米のダンスや歌もある。

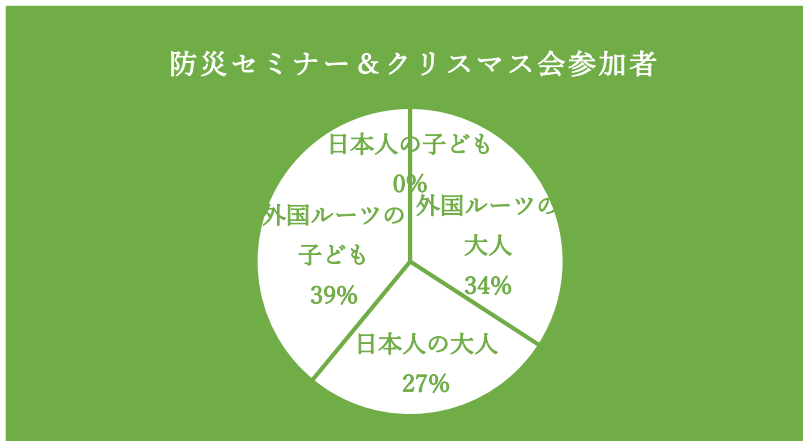
④ 12月21日 大阪市男女いきいき財団クレオ大阪西・こども文化センター様のご協力で「防災セミナー&クリスマスパーティー」をゆうせいホールで実施した。

参加者41名(外国にルーツを持つ大人14名)

以前に防災セミナーに参加した外国人の説明の言葉が日本語なので理解できなかったという声を念頭に置きスペイン語・ポルトガル語・英語の通訳者と共に外国

ルーツの方を対象としたセミナーを実施した。子育て世代の参加を想定していたため子どもの楽しめる空間づくりを行い、セミナー後は和気あいあいとクリスマス会を楽しんだ。食品選びの課題として、ムスリムの方も楽しめる配慮が必要である。





⑤ 2月4日 「に～よん☆みらいラボ」

西淀川インターナショナルコミュニティー・(公財)大阪国際交流センター・淀中学校・西淀川区役所共催、大阪大学人間科学未来共生博士課程プログラム協力によるスピーチ会を淀中学校で行った。中学校の外国につながる子どもへの放課後グローバル教室¹でブラジル・ペルールーツの学生によるスピーチ会を行った。特にペルールーツの学生は西淀川インターナショナルコミュニティーの活動拠点地域に住みいわば子どもたちにとって直接の先輩である。「しっかり勉強をしよう」という声が素直に心に響いたようであり今後の取り組みにつなげていきたい。

3. その他 見学・取材・講演等

<見学>

近畿弁護士会、西淀川区役所、大阪市民政局、その他

<取材>

ベイコム、フリーライター古川氏、毎日新聞、NHK、読売新聞、その他

<放映・掲載された主なもの>

- ・ケーブルテレビ Baycom チャンネル (大阪・兵庫) で 7/15～31 放映
番組名 このまち夢いっぱい～未来のゆめ・まちプロジェクト～
- ・東洋経済オンラインに掲載 7/18 フリーライター ヒトミ☆クバーナ氏執筆
<https://toyokeizai.net/articles/-/292409>
授業についていけない「外国ルーツの子」の苦悩 日本語が流暢でも勉強は別問題
- ・11/29 近畿弁護士会連合会 子どもの権利委員会主催 第34回近畿弁護士会連合会
大会シンポジウム第2分科会
「外国につながる子供の夢の扉を開こう！～自己実現を可能とする教育環境の整備に向けて～」
近畿弁護士会連合会

¹ グローバル教室→外国にルーツを持つ子どもたちのための放課後の学習教室

資料 p108～p111 に掲載

- ・毎日新聞 12月15日掲載 日本語・学習支援教室「ここは居心地がいい」
- ・西淀川区 広報誌「きらりにしよど」12月号ボランティア募集コーナーに掲載

<講演等>

- 7/9 令和元年度大阪府海外移住家族会総会講演
於マイドームおおさか
「大阪市西淀川区 外国にルーツを持つ青少年のための学習支援事業」
- 7/11 上本町 SDGs 大学
於クレオ大阪中央 第2回 SDGs×「外国にルーツを持つ子どもたち」
- 10/31 「多文化共生のまちづくり～地域でくらす生活者として外国にルーツ・つながりをもつ隣人とのかかわりを考えよう～ リレートーク「中学校」
於大阪市総合生涯学習センター 子どもの夢応援ネットワークとして参加
- 1/25 第6回識字・日本語学習研究集会 よみかきことば・つながるための学習を支援する
若者たちの識字・基礎教育を推進する
於大阪教育大学
C分科会で報告～外国にルーツを持つ子どもの高校進学における課題とその支援～
- 2/6 SW I T C H 生活困窮者の支援の在り方研究会
於堺市総合福祉会館
多様化する社会における支援について
～外国人支援を学ぶ～「子どもの学習支援教室」や「生活相談会の開催」



ⁱ 子どもの夢応援ネットワーク

→Facebook <https://ja-jp.facebook.com/kodomonoyume.ouen.nw/>